alfresa

アルフレッサ ホールディングス株式会社

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

株主のみなさまへ

2016年3月期
第2四半期報告書

（2015年4月～2015年9月）

証券コード 2784

株主のみなさまへ

代表取締役社長

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2016年3月期第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の成長戦略や日本銀行の金融緩和により緩やかな回復基調を維持しておりますが、世界経済の減速見通し等から先行きの景況感には弱さも一部にみられております。

当社グループは、2016年3月期について「13-15中期経営計画 変革への挑戦 ～次なる頂(いただき)を目指して～」の最終年度であり、質の高い成長とヘルスケアコンソーシアムを実現する年として位置付けております。

医療用医薬品等卸売事業におきましては、新薬創出加算品等の新製品や後発医薬品へのカテゴリーチェンジの進展等により、6.7%の市場成長(クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定)となりました。このような状況の下、当社グ

ループでは業界の最重要課題である「流通改革」の推進に向けた取り組みを強化するとともに、営業機能と物流機能の高度化に取り組んでまいりました。

セルフメディケーション卸売事業におきましては、消費税率引き上げ後の需要減の影響がなくなったことに加え、外国人観光客の増加に伴って一般用医薬品、健康食品等に対するインバウンド需要が拡大いたしました。

医薬品等製造事業におきましては、本年4月よりアルフレッサ ファインケミカル株式会社が発足し、医療用医薬品原薬（API）の生産を開始いたしております。当社グループとして初の医療用医薬品原薬を製造する会社として、今後も製品の安定供給に努めてまいります。

当社グループは、ヘルスケアコンソーシアムの実現に向けて医療・健康に関する商品・サービスの拡充を進めており、当連結会計年度より医療関連事業のセグメントを新設いたしました。調剤薬局を営む、アポロメディカルホールディングス株式会社と株式会社日本アポックを新たに連結しております。今後も関連事業領域を拡充して、様々な医療ニーズにお応えしてまいります。

当第２四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1兆2,622億87百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は157億79百万円（前年同期比66.5%増）、経常利益は207億99百万円（前年同期比46.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は132億28百万円（前年同期比43.7%増）となりました。

アルフレッサグループは、ヘルスケアコンソーシアム実現に向けて、事業領域の拡大と事業基盤のさらなる強化を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

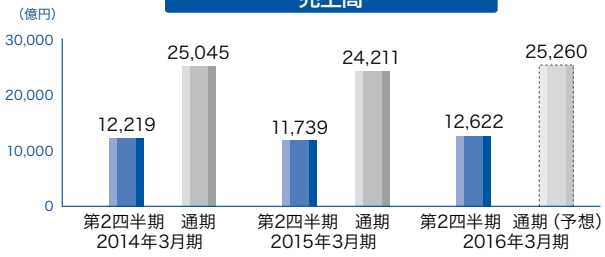
目次

1 株主のみなさまへ
3 当第2四半期（累計）の業績
5 特集 株主価値の向上に向けて
7 TOPICS
9 第2四半期（累計）連結財務諸表（概要）
13 株式情報
14 会社概要／配当について

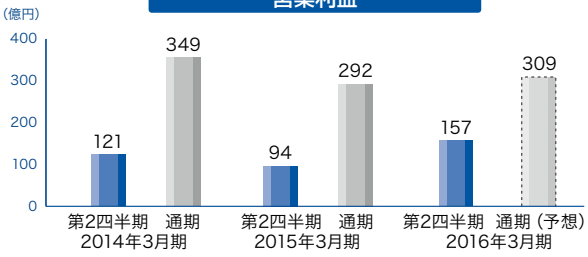
当第2四半期（累計）の業績

連結業績ハイライト

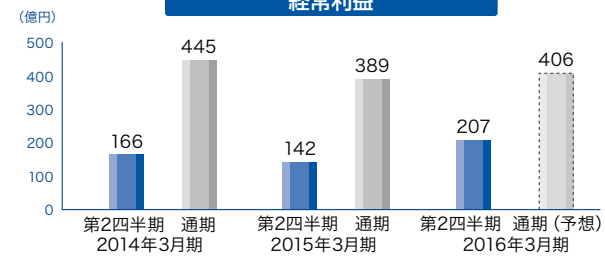
売上高



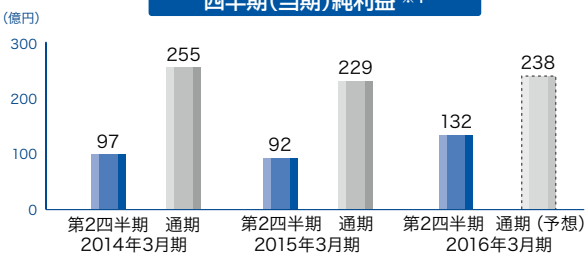
営業利益



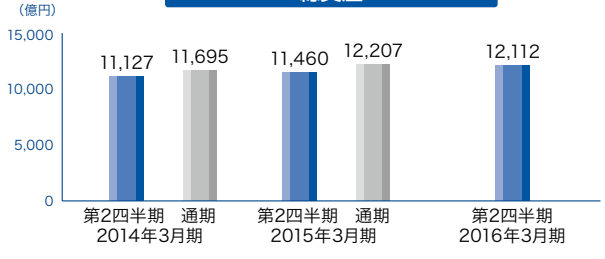
経常利益



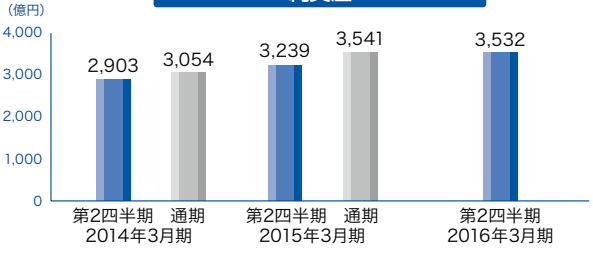
四半期（当期）純利益 ※1



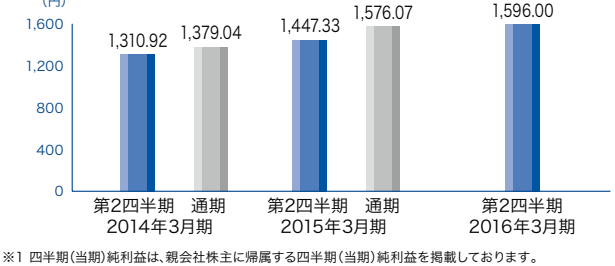
総資産



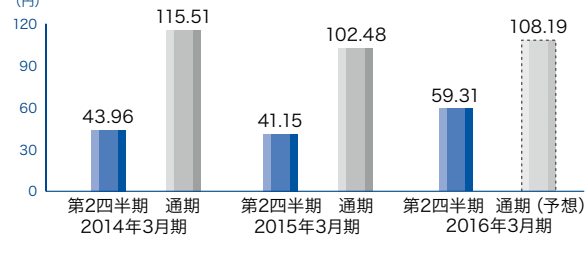
純資産



1株当たり純資産 ※2



1株当たり四半期（当期）純利益 ※2



※1 四半期（当期）純利益は、親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益を掲載しております。
※2 2014年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2014年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し1株当たり純資産および1株当たり四半期（当期）純利益を算定しております。

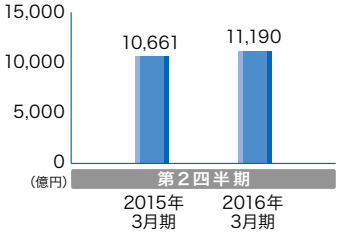
事業別の業績

医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品等卸売事業におきましては、本年４月に成和産業株式会社と常盤薬品株式会社が統合し、ティーエスアルフレッサ株式会社が発足いたしました。9月には、アルフレッサ株式会社の大阪物流センターが稼動いたしました。また、アルフレッサ株式会社とアルフレッサ日建産業株式会社が来年４月1日を効力発生日とする合併契約を締結いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は1兆1,190億22百万円（前年同期比5.0％増）、営業利益141億10百万円となりました。売上高には、セグメント間の内部売上高57億47百万円（前年同期は30百万円）を含んでおります。

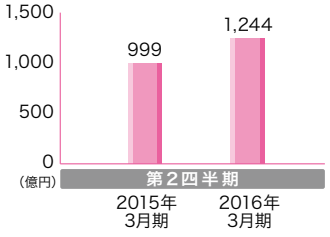
売上高（医療用医薬品等卸売事業）



セルフメディケーション卸売事業

セルフメディケーション卸売事業におきましては、株式会社茂木薬品商会の連結を開始したことや、インバウンド需要の拡大、利益率の高い専売商品への注力等により、増収増益となりました。当第2四半期連結累計期間の売上高は1,244億7百万円（前年同期比24.5％増）、営業利益7億25百万円（前年同期比624.7％増）となりました。売上高には、セグメント間の内部売上高3億36百万円（前年同期は2億54百万円）を含んでおります。

売上高（セルフメディケーション卸売事業）

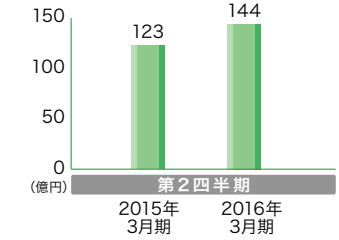


医薬品等製造事業

医薬品等製造事業におきましては、本年４月よりアルフレッサファインケミカル株式会社が発足し、医療用医薬品原薬（API）の生産を開始いたしました。また、本年9月に新たな迅速診断キット「アルソニック®」シリーズを発売いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は144億12百万円（前年同期比16.8％増）、営業利益3億85百万円（前年同期比30.4％減）となりました。売上高には、セグメント間の内部売上高42億15百万円（前年同期比0.2％増）を含んでおります。

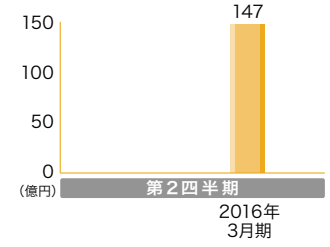
売上高（医薬品等製造事業）



医療関連事業

当連結会計年度より新設しました医療関連事業におきましては、調剤薬局を営む、アポロメディカルホールディングス株式会社と株式会社日本アポックを新たに連結の範囲に含めております。当第2四半期連結累計期間の売上高は147億42百万円、営業利益4億59百万円となりました。

売上高（医療関連事業）



特集 株主価値の向上に向けて

アルフレッサグループは、新たに４社を連結し、グループ内の再編を進めるなど、質の高い成長とヘルスケアコンソーシアム実現に向けてスピーディーな事業展開を行うとともに、機動的な資本政策を遂行し、株主価値のさらなる向上に取り組んでおります。

医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品を中心に、診断薬、医療機器・用具などの商品を病院、診療所や調剤薬局などにお届けしています。高い処理能力を備える物流センターを全国に配置し、幅広い知識を備える販売担当者がお得意様をサポートしています。

連結グループ会社数

11社（2015年3月期）

アルフレッサ（株）
アルフレッサ日建産業（株）
2016年4月合併予定

セルフメディケーション卸売事業

一般用医薬品を中心に、健康食品、サプリメントなどをドラッグストア、薬局、薬店等にお届けしています。フルラインの商品構成と高い提案力でお得意様のニーズにお応えしています。

連結グループ会社数

1社（2015年3月期）

新連結会社
（株）茂木薬品商会

2社

医薬品等製造事業

予防、診断、治療の総合的な観点に立ち、GMP/QMS※などの基準に基づく高品質な医薬品原薬、医薬品、診断薬、医療機器等を製造・販売しています。ユニークで存在感のある製品の研究・開発・製造・販売を行っています。

※GMP：医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準
QMS：医療機器及び体外診断用医薬品の製造管理及び品質管理

連結グループ会社数

2社（2015年3月期）

新連結会社
アルフレッサ
ファインケミカル（株）

3社

医療関連事業

「ヘルスケアコンソーシアムの実現」に向けて、アルフレッサグループは事業領域を積極的に拡充しています。調剤薬局事業などの関連事業を通じて、様々な医療ニーズにお応えしています。

連結グループ会社数
※本年度より

新連結会社
アポロメディカルホールディングス（株）
（株）日本アポック

2社

配当方針

配当につきましては、連結業績を基準に、財務体質の強化や経営基盤の安定性、および将来の事業展開等を総合的に考慮し、純資産配当率（DOE）２％を目途に業績を考慮しながら決定していきたいと考えております。

純資産配当率（DOE）
2.0%

純資産配当率（DOE）

配当金総額を純資産で除した数値で、株主からの出資金や事業を通じて得た利益の蓄積である純資産という「元本」に対し、どれだけの金額を配当という形で株主に還元しているかをみる経営指標です。

年間配当金

※株式分割を反映

News

自己株式の取得

当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行により、株主価値のさらなる向上を図るため、本年8月6日より自己株式取得の実施をはじめ、10月28日に終了いたしました。

取得した株式の総数	6,984,500株
株式の取得価額の総額	14,999,852,612円

発行済株式総数に対する取得割合※
3%相当

※上記の取得割合（3%相当）は、平成27年6月30日現在の発行済株式総数（自己株式を除く）223,667,781株に対する割合を示しています。

「JPX日経インデックス400」構成銘柄に選定

当社は、「JPX日経インデックス400」の構成銘柄として2014年と2015年に選定されました。

「JPX日経インデックス400」は日本取引所グループ、東京証券取引所、および日本経済新聞社が共同で開発し、2014年1月より公表が始まった「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される株価指数です。

TOPICS

アルフレッサ（株）の大阪物流センターが稼動

アルフレッサ株式会社の大阪物流センターが本年9月に稼動いたしました。多くの医療機関が集まる大阪の中心部に位置し、3万アイテムを超える豊富な在庫を持つ大規模な物流センターです。

医薬品市場が大きく変化し物流機能の重要性が増すなか、大阪物流センターは、新たなロジスティック機能を実現する中核的な物流拠点として地域医療に貢献してまいります。

〈センターの特徴〉

（1）安心・安全に医薬品を提供

- 厳格なセキュリティ管理
- 高機能な庫内管理システム（WMS）
- 高精度なトレーサビリティ機能

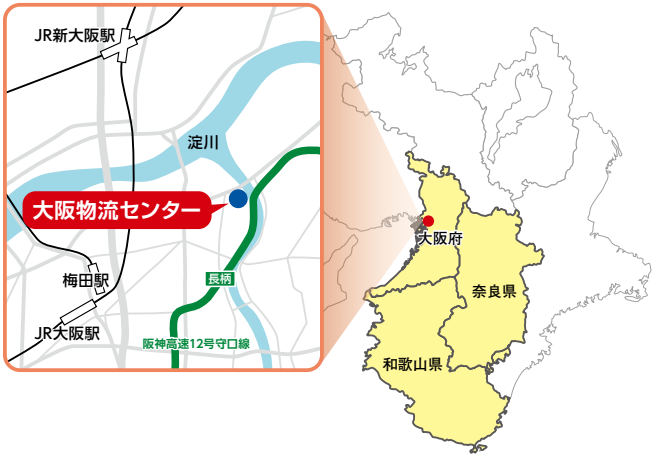
（2）迅速な配送体制

- 物流センターに周辺の営業拠点を併設させ、効率的かつ迅速な配送体制を構築

（3）災害発生時の継続的な供給体制

- 自家発電設備や地下給油タンクなどの装備により、災害発生時にも継続的な供給体制を確保
- 地域の方にもご利用いただける非常用トイレの設置や飲料水等の備蓄品の保管

大阪物流センター外観



アルフレッサ株式会社 大阪物流センター

所 在 地：大阪府大阪市北区長柄東二丁目9番46号
敷地面積：25,417㎡（7,688坪）
建築面積：15,783㎡（4,774坪）
延床面積：45,595㎡（13,792坪）
構　　造：鉄骨造4階建
保管品目：30,000品目

アルフレッサ（株）とアルフレッサ日建産業（株）間で合併契約を締結

アルフレッサグループは、「13-15中期経営計画 変革への挑戦 ～次なる頂（いただき）を目指して～」において、医療用医薬品卸売事業の次なるステージを目指すことを掲げております。

このようななか、本年9月に当社の完全子会社で、東名阪、甲信越および九州を営業エリアとして医療用医薬品等卸売事業を行うアルフレッサ株式会社と、岐阜県において医療用医薬品等卸売事業を行うアルフレッサ日建産業株式会社は、2016年4月1日を効力発生日とする合併契約を締結いたしました。本合併により、両社の経営資源を有効かつ効率的に活用することによって、地域に密着した営業基盤のさらなる強化を図ってまいります。

合併後の状況（予定）

商　　号：アルフレッサ株式会社
所 在 地：東京都千代田区内神田一丁目12番1号
代 表 者：代表取締役社長　鹿目 広行
事業内容：医療用医薬品、医療機器、
　　医療用検査試薬等の卸売販売
資 本 金：4,000百万円

体外診断用医薬品「アルソニック®」シリーズを新発売

アルフレッサ ファーマ株式会社は、本年9月に体外診断用医薬品「アルソニック®」シリーズを新発売いたしました。本シリーズは、判定時間が5分と短かく、医療現場での患者様の待ち時間短縮につながることに加え、同じ検体抽出液を共用することができ、複数のウイルス検査が必要な場合において患者様の負担を軽減することが可能です。今後も付加価値の高い製品の研究開発に取り組み、多様な医療ニーズに対応できる製品を提供してまいります。

アルソニック®Flu
（インフルエンザ感染症の診断補助）

アルソニック®アデノ
（アデノウイルス感染症の診断補助）

アルソニック®RSV
（RSウイルス感染症の診断補助）

第2四半期（累計）連結財務諸表（概要）

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円、単位未満切り捨て）

科 目	前 期 2015年3月31日現在	当第２四半期 2015年9月30日現在
資産の部		
流動資産	**951,940**	**937,407**
現金及び預金	105,311	97,290
受取手形及び売掛金	597,779	603,939
有価証券	62,000	45,000
たな卸資産	131,328	133,015
その他	55,519	58,161
固定資産	**268,841**	**273,854**
有形固定資産	**118,766**	**126,403**
建物及び構築物	38,100	46,981
土地	63,850	65,352
その他	16,815	14,069
無形固定資産	**10,650**	**13,443**
のれん	5,192	8,040
その他	5,458	5,403
投資その他の資産	**139,424**	**134,007**
投資有価証券	124,410	117,896
その他	15,013	16,111
資産合計	**1,220,781**	**1,211,262**

POINT 1

POINT 1 流動資産

「現金及び預金」や「有価証券」が減少したことなどにより、前期と比べ145億32百万円減少いたしました。

POINT 2

POINT 2 固定資産

有形固定資産や無形固定資産が増加したことなどにより、前期と比べ50億13百万円増加いたしました。

科 目	前 期 2015年3月31日現在	当第２四半期 2015年9月30日現在
負債の部		
流動負債	**819,571**	**812,108**
支払手形及び買掛金	784,954	783,378
短期借入金	259	659
その他	34,358	28,069
固定負債	**47,086**	**45,906**
長期借入金	1,476	1,669
退職給付に係る負債	15,051	15,118
その他	30,558	29,118
負債合計	**866,658**	**858,014**
純資産の部		
株主資本	**298,308**	**300,203**
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	103,799	103,794
利益剰余金	177,061	187,600
自己株式	△1,006	△9,645
その他の包括利益累計額	**54,210**	**50,524**
その他有価証券評価差額金	56,512	52,849
土地再評価差額金	△4,211	△4,198
為替換算調整勘定	205	221
退職給付に係る調整累計額	1,701	1,651
非支配株主持分	**1,603**	**2,519**
純資産合計	**354,123**	**353,247**
負債純資産合計	**1,220,781**	**1,211,262**

POINT 3

流動負債 POINT 3

「支払手形及び買掛金」が減少したことなどにより、前期と比べ74億63百万円減少いたしました。

POINT 4

株主資本 POINT 4

「自己株式」が増加した一方で、「利益剰余金」が増加したことなどにより、前期と比べ18億95百万円増加いたしました。自己資本比率は0.1ポイント上昇し、29.0%となりました。

第2四半期（累計）連結財務諸表（概要）

四半期連結損益計算書

（単位：百万円、単位未満切り捨て）

科 目	前第２四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	当第２四半期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで
売上高	**1,173,994**	**1,262,287**
売上原価	**1,096,394**	**1,172,027**
売上総利益	**77,600**	**90,259**
販売費及び一般管理費	68,121	74,480
営業利益	**9,478**	**15,779**
営業外収益	4,999	5,279
営業外費用	259	259
経常利益	**14,218**	**20,799**
特別利益	133	179
特別損失	536	482
税金等調整前四半期純利益	**13,816**	**20,496**
法人税、住民税及び事業税	6,735	6,956
法人税等調整額	△2,128	117
法人税等合計	4,606	7,074
四半期純利益	**9,209**	**13,422**
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,204	13,228
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	193

POINT 5 売上高

新薬創出加算品等の新製品や後発医薬品の増加に加えて、外国人観光客の増加に伴う一般用医薬品や健康食品等に対するインバウンド需要の拡大などにより、前第2四半期と比べ882億92百万円増加いたしました。

POINT 6 売上総利益

売上高の増加などにより、前第2四半期と比べ126億59百万円増加いたしました。売上総利益率は0.6ポイント上昇し、7.2%となりました。

POINT 7 販売費及び一般管理費

連結会社の増加などにより、前第2四半期と比べ63億58百万円増加いたしました。売上高販管費比率は0.1ポイント上昇し、5.9%となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位:百万円、単位未満切り捨て）

科 目	前第２四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	当第２四半期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,723	△139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,659	△7,437
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,162	△13,546
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	9
現金及び現金同等物の増加（△減少）額	884	△21,113
現金及び現金同等物の期首残高	138,819	160,265
現金及び現金同等物の四半期末残高	139,703	140,771

POINT 8 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益204億96百万円、仕入債務の減少55億46百万円、売上債権の増加48億74百万円、法人税等の支払84億51百万円などがありました。

POINT 9 投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券の売却による収入50億円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出70億4百万円、物流センター設備を中心とした有形固定資産の取得による支出50億32百万円などがありました。

POINT 10 財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の取得による支出86億38百万円、配当金の支払35億78百万円などがありました。

株式情報(2015年9月30日現在)

株式の概況

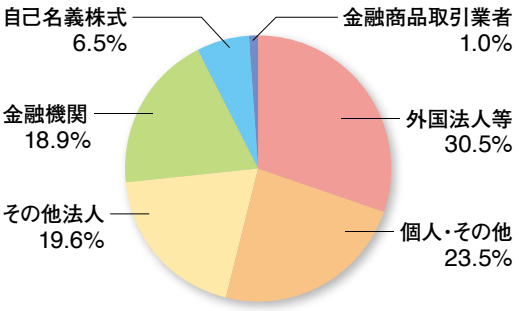
発行可能株式総数	540,000,000株
発行済株式総数	235,017,600株
株主数	10,504名

大株主

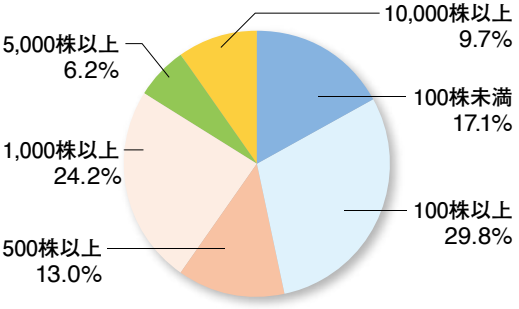
順位	氏名または名称	所有株式数(千株)	議決権比率(%)
1	アルフレッサ ホールディングス株式会社	15,263	—
2	アルフレッサ ホールディングス社員持株会	6,468	2.9
3	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,119	2.8
4	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,549	2.5
5	エーザイ株式会社	4,602	2.1
6	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	4,211	1.9
7	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	4,072	1.9
8	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	3,908	1.8
9	MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	3,278	1.5
10	CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	3,267	1.5

※所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

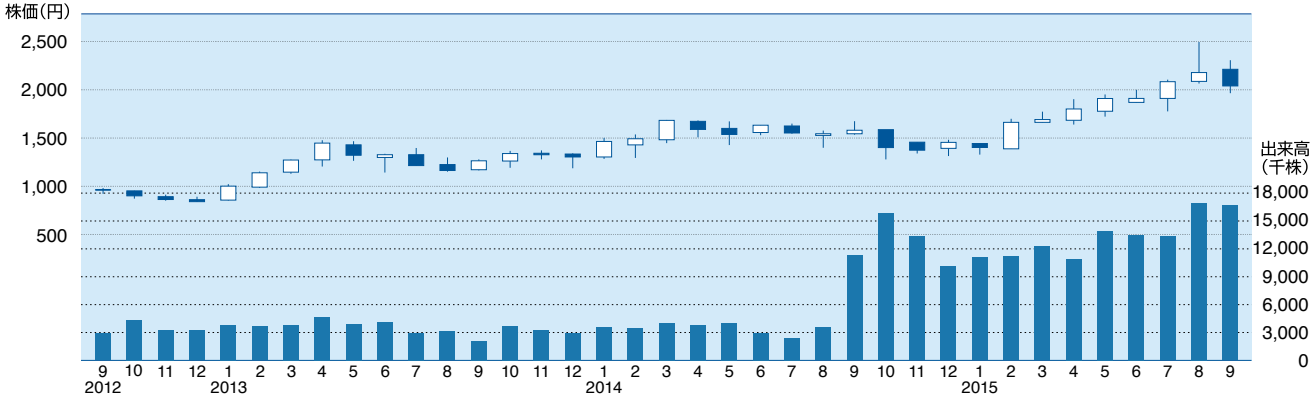
所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



株価・出来高の推移(東京証券取引所)



※2014年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、過去に遡って当該株式分割を反映した株価を記載しております。

会社概要(2015年9月30日現在)

会社名	アルフレッサ ホールディングス株式会社 (Alfresa Holdings Corporation)
本社所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号
従業員数	12,024名(連結)
設立年月日	2003年9月29日
事業の内容	医薬品、医療用検査試薬、 医療機器・用具等の卸販売および 製造販売並びに輸出入等を行う 子会社の管理等
資本金	18,454百万円

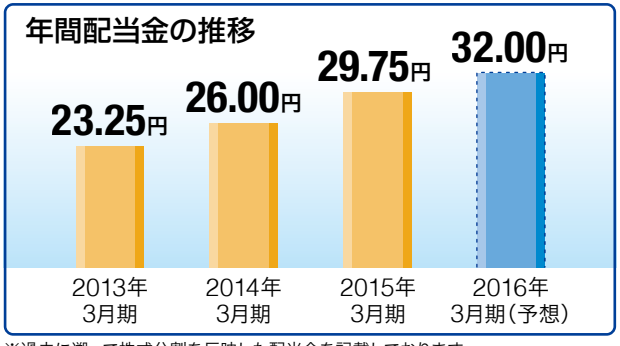
取締役および監査役

取締役　名誉会長	福神 邦雄
代表取締役社長	石黒 傳六
代表取締役	滝田 康雄(副社長)
代表取締役	鹿目 広行(副社長)
取締役	髙橋 英富(副社長)
取締役	長谷部省三(副社長)
取締役	久保 泰三(副社長)
取締役	三宅 俊一(専務執行役員)
取締役	泉 康樹(常務執行役員)
取締役	篠原 恒夫
取締役(社外取締役)	木村 和子
取締役(社外取締役)	寺井 公子
常勤監査役	桑山 賢治
監査役(社外監査役)	山田 信義
監査役(社外監査役)	野口 祐嗣
監査役(社外監査役)	神垣 清水

配当について

当社の配当につきましては、連結業績を基準に、財務体質の強化や経営基盤の安定性、および将来の事業展開等を総合的に勘案し、純資産配当率(DOE)※2%を目途に業績を考慮しながら決定していきたいと考えております。

この方針に基づき、2016年3月期は中間配当金を16円といたしました。また期末配当金は16円を予定しており、年間配当金は合計32円を予定しております。



※過去に遡って株式分割を反映した配当金を記載しております。

※純資産配当率(Dividend On Equity)

配当金総額を純資産で除した数値で、株主からの出資金や事業を通じて得た利益の蓄積である純資産という「元手」に対し、どれだけの金額を配当という形で株主に還元しているかをみる経営指標です。純資産配当率は、当期純利益を純資産で除した「自己資本当期純利益率」と、配当金総額を当期純利益で除した「配当性向」を掛けて算出することもできます。(この計算における純資産とは、貸借対照表の純資産の部より少数株主持分を除いたものです。)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座　口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 ☎ 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	日本経済新聞

株主のみなさまからの声をお待ちしております。

当社では、株主のみなさまからのご意見・ご要望をお受けしております。

ご意見・ご要望がございましたら、お電話やおハガキ、またはe-メール（ir@alfresa.com）でお気軽にお寄せください。当報告書に関するご意見もお待ちしております。

アルフレッサ ホールディングス株式会社　財務企画部 広報IR室
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階
TEL：03-5219-5102　FAX：03-5219-5103

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C009419
VEGETABLE OIL INK
本誌は、FSC®認証紙と、植物性インキを使用しています。

株式に関するお手続き

単元未満株式の買増・買取、住所変更などの各種お手続きについて

原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱ＵＦＪ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

単元未満株式の買増・買取制度について

当社では、1単元（100株）未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて

当社株主名簿管理人である、三菱ＵＦＪ信託銀行にお問い合わせください。

特別口座について

証券会社等の口座に入庫されていない株券につきましては、当社が開設した「特別口座」において管理されています。「特別口座」では譲与・譲渡のお手続きができませんので、売買するには証券会社に同一名義の口座を開設し、株式振替を行うお手続きが必要となります。

未受領の配当金のお支払いについて

三菱ＵＦＪ信託銀行本支店においてお取り扱いいたします。

配当金に関するお知らせについて

当社では、郵便ハガキによる「期末配当金に関するお知らせ（中間配当金の支払に関する取締役会決議ご通知）」の送付を廃止いたしました。当社ホームページへの掲載によりご案内しております。

ホームページ **http://www.alfresa.com/**